

社会福祉法人 大阪市手をつなぐ育成会
大阪市天王寺区東高津町12-10
大阪市立社会福祉センターB1F
発行責任者 小泉 いと子
TEL 06(6765)5621 FAX 06(6765)5623
http://city-osaka-ikuseikai.or.jp
定価 10円



大阪市手をつなぐ育成会 法人理念

障がいのある人が 安心して 心豊かに すごせるように

平成30年を迎えて

理事長 小泉 いと子

新年あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は、育成会活動にご支援、ご協力頂きまして感謝申し上げます。



昨年を振り返りますと、大阪市育成会で担当した近畿大会が準備の段階から皆さまのご協力のもと、無事終了出来ましたことが、一番大きな出来事だったように思います。会員の皆さまと職員の皆さんが、一丸となっている姿を拝見し、育成会活動への活力を頂けてとてもうれしかったです。

いよいよ平成30年となり、予定されている障害福祉サービス等報酬改定に向けて、今後どうなっていくのかと皆様の関心も高まっていることと思います。厚生労働省から出されている総合支援法の改正と報酬改定に伴う省令などの見直しに関するパブリックコメントなど、具体的な内容についても少しずつ発表されてきており、今後は新たなサービスの具体的な指定基準などの動向も気になるところです。この報酬改定にともない、厚生労働省では「障害福祉サービス報酬改定検討チーム」を結成しました。この組織は、障害福祉サービス事業所に支払われる報酬が3年に一度改定されるタイミングで、有識者を交えて必要な報酬のあり方などを議論する会議体のことです。報酬はあくまで報酬ですが、法律で位置づけることが難しい制度運用上の対応は報酬を動かすことで対応することも多いため、実際には制度変更に近い運用変更が示されることもあり重要な会議となっています。とはいえ、

最終的な報酬額は予算折衝との兼ね合いもありますので、検討チームは報酬の方向性を議論する場といえるでしょう。また、検討チームでの会議では、障がい者団体や事業所団体といった関係団体からのヒアリングも行われ、全国手をつなぐ育成会連合会の久保会長も参加されています。

この「障害福祉サービス報酬改定検討チーム(平成30年度報酬改定)」のまとめについては、全国手をつなぐ育成会連合会の情報誌『手をつなぐ』編集委員であり、政策研究開発センター委員でもある又村あおい氏のホームページ「あおいさんの部屋」(<https://ameblo.jp/aoisannoheya/>)にて分かりやすくまとめられているので、興味のある方はぜひご覧ください。

11月頃までの動きから障害福祉サービスの報酬改定については、極めて厳しい状況にあり、良くて現状維持、悪ければマイナス改定となるのではないかと予想もありましたが、結果としては+0.47%とプラス改定となりました。しかし、今回決まったのはあくまで総枠の話であり、個々のサービスについては、今後の報酬設定によって大きく左右されます。

障がいのある方がより暮らしやすい社会を実現していくためにも、私たち一人ひとりが関心をもってこれからの動きを注視し、自分たちの意見をきちんと発信して届けていくことが、今後ますます重要になってくると思います。

大阪市手をつなぐ育成会としましても、皆さまからのご意見に耳を傾けながら今後も活動していきたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願い致します。

結びになりますが、皆さま方のご多幸をお祈り申しあげまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

